

『芝浦機械』脱炭素に向けた商品戦略」に関するお知らせ

当社は、「『芝浦機械』脱炭素に向けた商品戦略」を策定いたしました。本戦略は、当社が2020年3月5日付で公表した「新生『芝浦機械』長期ビジョン2030」で示した社会的課題の解決と企業価値向上の両立による持続的成長を目指すなか、脱炭素に向けてライフサイクルおよびサプライチェーンの全体を通じて取り組むべく策定したものです。

<脱炭素に向けた商品戦略>

- 環境アクションプランにて2030年に2013年比で50%以上のCO2排出の削減を目標に定め、価値を創造する当社の開発、製造の基盤となる「8つの技術プラットフォーム」を活用しCO2排出の削減に取り組む。
- 原材料調達から生産、物流、販売、使用、廃棄までの、製品に関わるライフサイクルおよびサプライチェーンの全体を通じて、様々なステークホルダーと共に社会的課題の解決に取り組む。
- 装置と技術を掛け合わせて、あらゆる社会的課題の解決に貢献してきました。これまで自動車の軽量化を通じた環境負荷の低減への貢献、ストーンペーパーやセルロースナノファイバー等の環境負荷が小さい新素材開発への貢献、EVの普及や蓄エネに欠かせないリチウムイオン電池向けセパレーターフィルム量産への貢献、いずれも装置と技術を掛け合わせた成果であり、これからもこの取り組みを強化する。
- 今後は、製品の徹底したダウンサイジングにより材料の使用量を削減し、材料の生産に必要なエネルギー使用量を削減するなど製品を起点としたCO2排出の削減に取り組む他、電動化技術や制御技術、究極の摺動と回転の技術を活かした省エネ技術を組み込み、製品のエネルギー使用量や油の使用量を削減するなど製品の使用におけるCO2排出の削減に取り組む。更には、創エネ技術の開発によるCO2排出の削減にも取り組む。
- 当社のデジタルトランスフォーメーション・SHIBAURA DXによる「”技術”と”モノづくり”の革新」が生み出す「完成度99.7%を実現するリアルとデジタルを融合した空間、Virtual Lab.」は、開発時の試作レス・検証レスを実現し、サプライチェーン全体のCO2排出を削減する。さらには、Virtual Lab.を産学連携の拠点として提供し、CO2排出削減など社会的課題の解決に貢献する技術を創出する。



図1. 芝浦機械の開発、製造の基盤となる8つの技術プラットフォーム

原材料調達から生産、物流、販売、使用、廃棄までの、製品が関わるライフサイクル全体を通じて、様々なステークホルダーと共に社会課題の解決に取り組む。

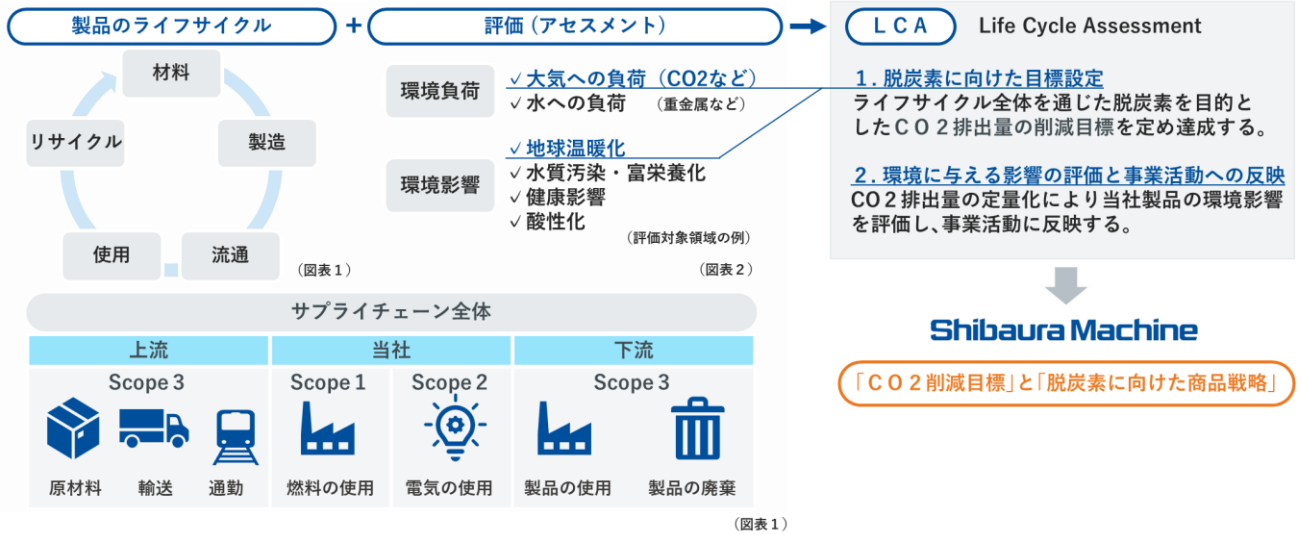


図2. 脱炭素に向けた商品戦略：ライフサイクルおよびサプライチェーン全体を通じた脱炭素の取り組み



図3. 製品を起点とした脱炭素の取り組みの例



図4. SHIBAURA DXによる「技術」と「モノづくり」の革新がCO2排出を削減